



周辺環境に調和する2階建て低層ボリューム。大きな庇は子どもたちや地域住民を迎え入れる。腰壁や校名板は、まちに馴染むレンガを使用。

アイレベルイメージ 南側校門より見る



新中学校と並ぶ新しい赤平の風景。

鳥瞰イメージ

※イメージ図のため、グラウンド周囲のフェンス等は省略しています。



道道から見える西側には、3校統合の象徴となる3つの「ヤマ」を表現。

アイレベルイメージ 西側グラウンドより見る

○建設事業概要

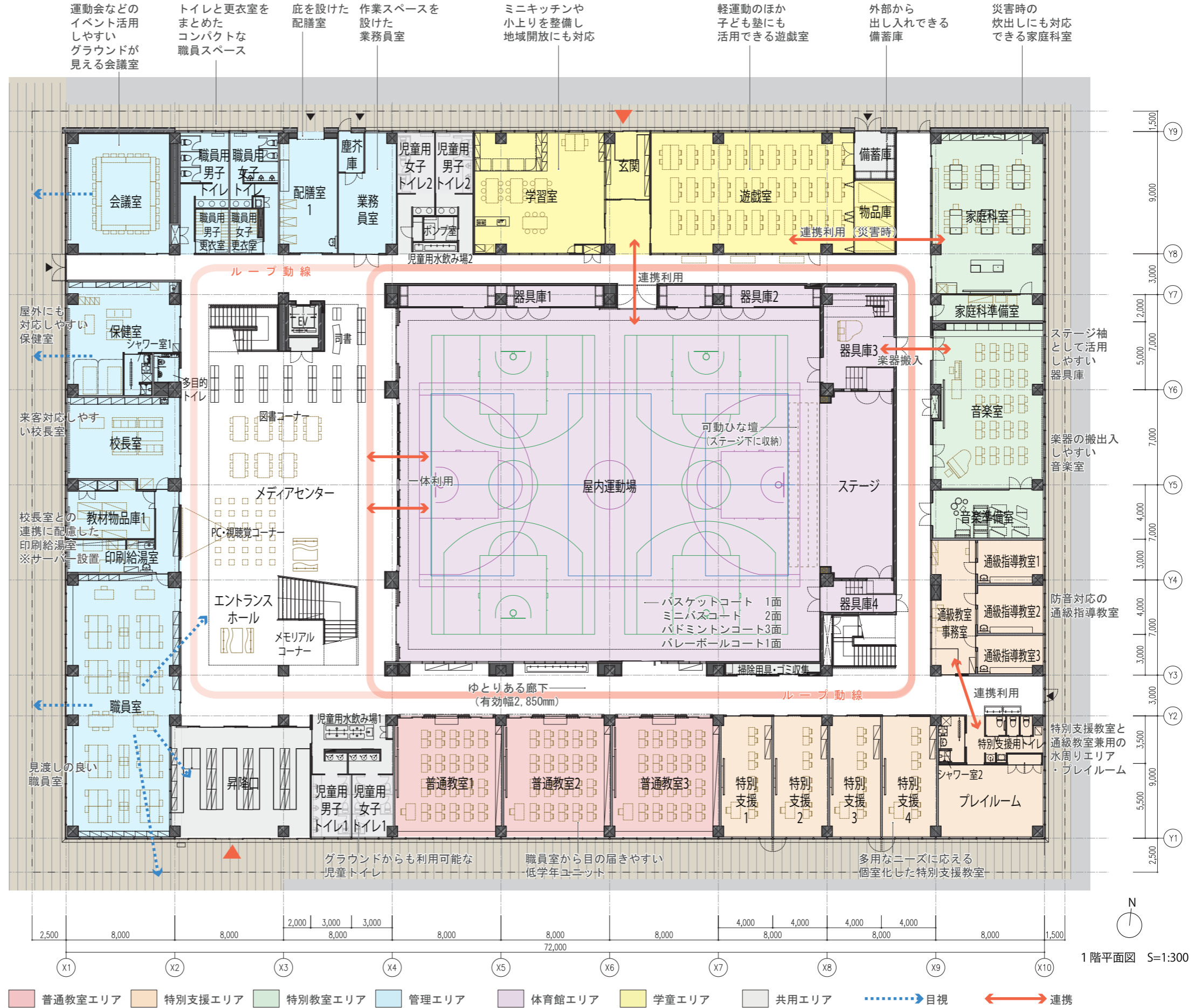
- ・建設地 : 赤平市東文京町4丁目6番地の内
- ・敷地面積 : 26,642.69㎡
- ・建築面積 : 4,042.68㎡
- ・延床面積 : 校舎 4,695.06㎡ 屋体 1,175.38㎡  
付属棟 46.68㎡ 合計 5,917.12㎡
- ・既算工事費 : 2,774,846千円
- ・工事工期 : 令和2年6月~令和4年1月  
令和4年4月1日開校予定

○基本方針

- ・体育館を校舎(教室)で囲むコンパクトな一体型平面とします。
- ・防犯性を高めるとともに災害時に避難しやすいするため、廊下に行き止まりがなく回遊できるようにします。
- ・全ての普通教室と多目的教室、特別支援教室は南面採光可能な配置とします。
- ・普通教室と児童トイレをひとまとめた学年ユニットを整備します。学年ユニットは低・中・高学年ユニットの計3つを整備します。
- ・普通教室は廊下との間に建具を設け、集中できる落ち着いた環境を確保します。同時にガラスを多用し、南面及び廊下面からの自然光を教室に導きます。

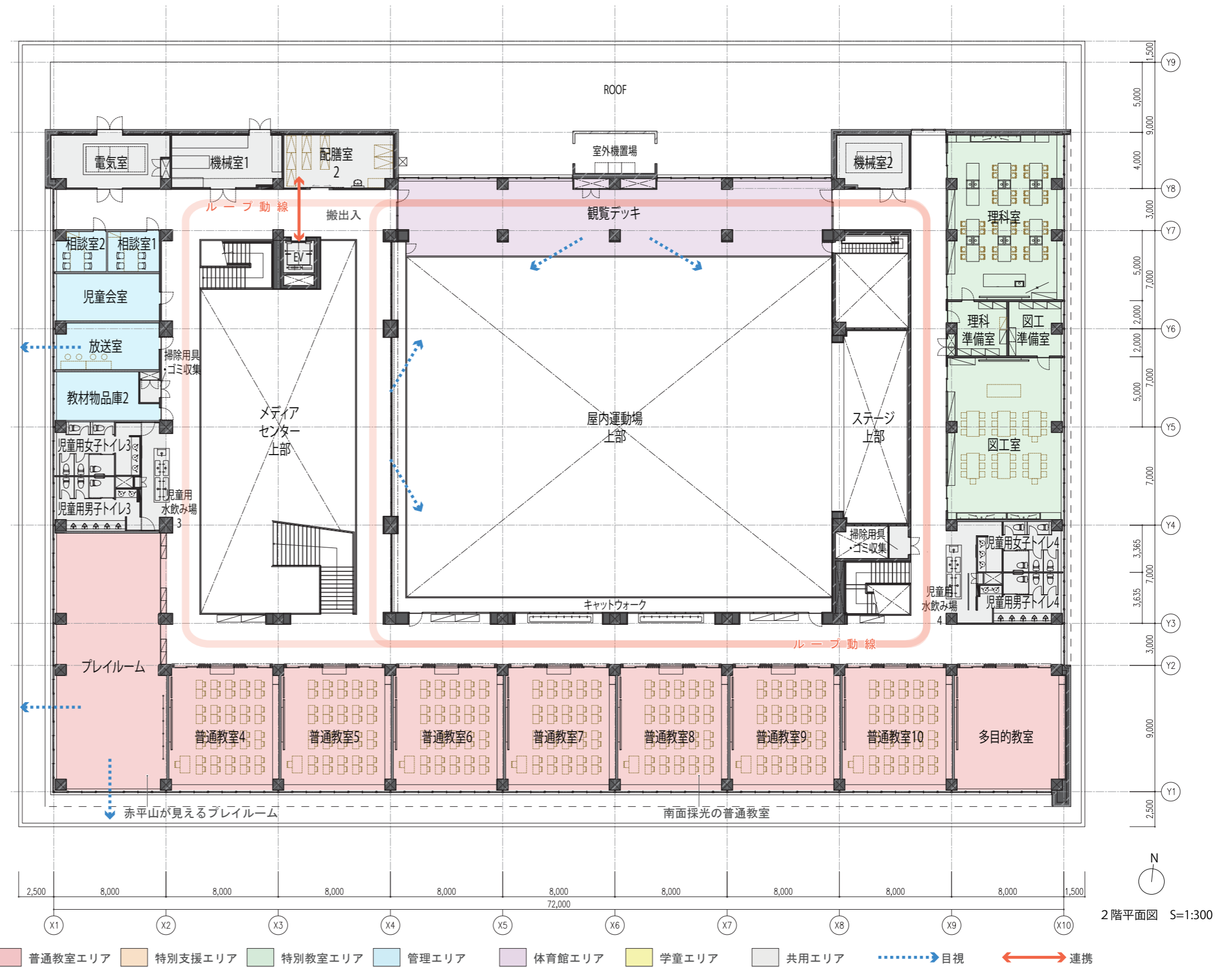
○1階平面の特徴

- ・職員室を中心とした管理エリアは1階西側に集約し、無駄のない職員動線を実現します。保健室はグラウンドが見渡せる位置とし、近くに出入口を設け、屋外緊急時にも対応できます。
- ・図書、PC視聴覚機能を持つメディアセンターは学校の中心に配置し、日常の利用頻度を高めます。イベント時には体育館と一体的利用を可能とし、学校行事にとどまらないフレキシブルな活動に対応する計画とします。
- ・北側に体育館への入口を設け、学童も利用可能な計画とします。
- ・体育館は建物中心に配置することで、第二の教室として利用頻度を高めます。間仕切壁にはガラス面を採用し、体育館からの光を廊下へ拡散させる計画とします。
- ・音楽室と体育館を近接させることで、楽器の搬出入を容易にします。
- ・家庭科室は災害時の利用を考慮し、学童エリアと近接した1階に配置します。
- ・特別支援教室は肢体不自由な児童に配慮し、1階配置とします。近くに屋外出入口を設け、スムーズな避難を可能とします。通級指導教室は児童のプライバシーに配慮し、普通教室から離れた配置とします。
- ・配膳室は給食配膳車が搬入しやすい北側に配置し、2階へのEV(エレベーター)動線を確保します。



## ○2階平面の特徴

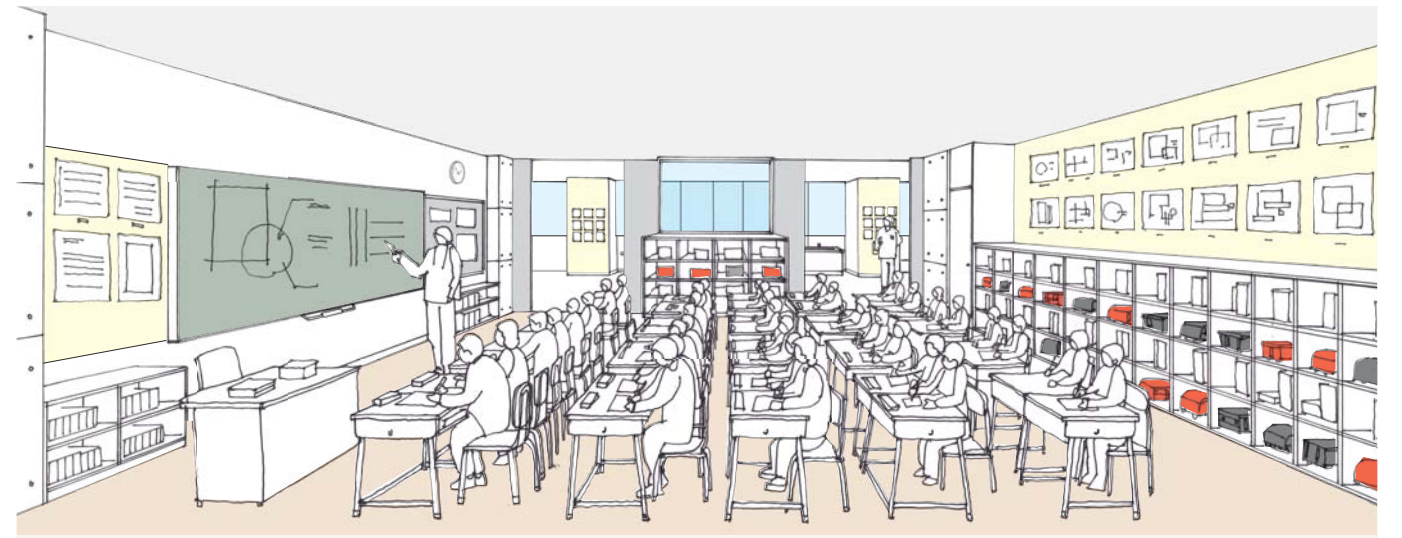
- ・中学年ユニット、高学年ユニットを配置します。  
ユニットごとに、トイレ・水飲み場・掃除用具置場・ゴミ収集場を設けます。
- ・集いの場となるプレイルームは、日当たり・眺望が良い南西側に配置します。
- ・相談室は保護者利用に配慮し、階段・E V近くに配置します。
- ・放送室はグラウンドが見渡せる位置に配置します。
- ・体育館には観覧デッキを設けます。デッキには大きな窓を設け、安定した北側採光を確保します。
- ・中高学年での利用が多い理科室・図工室は、2階東側に集約します。
- ・EV（エレベーター）は主に給食運搬用に利用し、コンテナ積載に適切なサイズを採用します。身体の不自由な児童や来校者も使用可能とします。





トプライトからの自然光あふれる図書・PCスペース。体育館との一体的利用も可能。

メディアセンター



教室内外の掲示スペースを充実。夏場の冷房時は廊下側扉を閉めることができる。

普通教室



学校の顔となるエントランスにはメモリアルコーナーを設置。フローリングは道産ニレ材を使用。

昇降口より見たエントランスホール



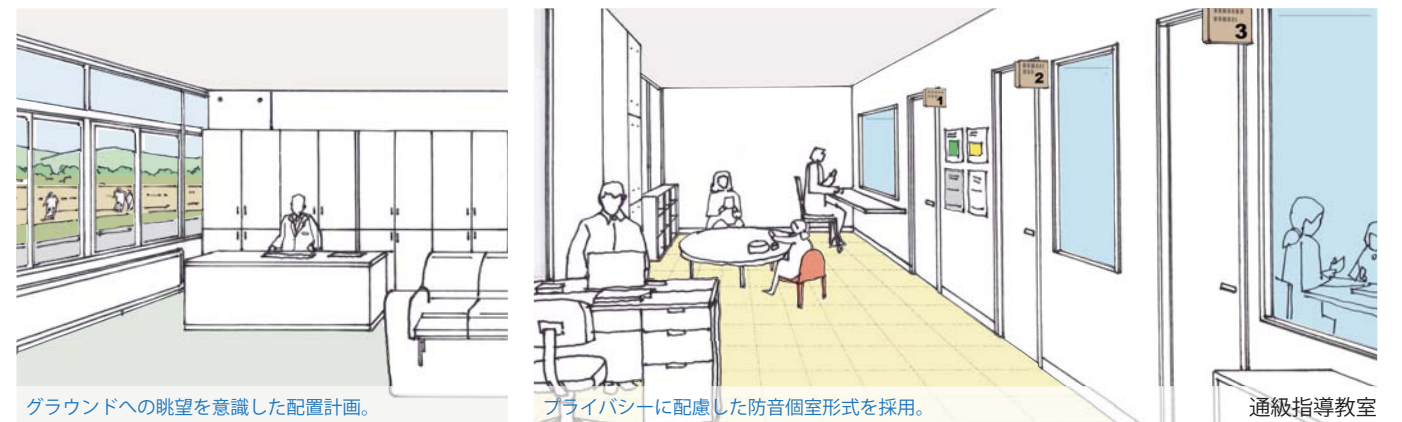
見通しの良い職員室。エントランス広場、昇降口、メディアセンター、グラウンドの全てが見渡せる。

職員室



見渡しの良い明るい廊下。普通教室は2面採光を採用。

2階普通教室前



グラウンドへの眺望を意識した配置計画。

校長室

プライバシーに配慮した防音個室形式を採用。

通級指導教室



3面ハイサイドライト（高窓）による採光で日中の照明負荷を低減。

体育館



限られたスペースを最大限活かしたフレキシブルな学童エリア。

学習室